

第 7 回矯正官署契約監視会議議事概要

開 催 日	平成 2 2 年 7 月 1 日（木）
開 催 場 所	法務省大臣官房会計課会議室
出 席 委 員	八木澤 壯 一（東京電機大学名誉教授） 関 沢 紘 一（米海軍在日統合法務局国際法首席顧問） 青 木 聖 子（実践女子短期大学非常勤講師）
審議対象期間	平成 2 1 年 8 月～平成 2 2 年 3 月
審議対象契約	一般競争契約 1, 3 2 9 件 随 意 契 約 1 7 件
重点審議案件	一般競争契約 9 件 随 意 契 約 1 件
委員からの主な 意見・質問，そ れに対する回答 等	別紙のとおり
意 見 具 申 等	<意見具申> 特段の意見なし <コメント> これまでの会議における審議内容に対する各委員の意見が確実に反映されてきており，回を重ねるごとに改善が見られる。 予定価格の算出についても良く考えられており，特に，今回の会議においては，「発注者が本当に良いものを購入するにはどうしたらよいか。」等，審議内容のレベルも上がってきた。 また，今回の審議対象案件にあったように，共同購入を行うことによって契約価格が下がり，施設間の価格差が良い意味で統一されてきている。 今後も引続き，適正な契約を行うよう努力されたい。
次回の会議開催 等	<今後の重点監視対象契約> 平成 2 1 年 1 0 月から 1 1 月にかけて，総務省において実施された「契約における実質的な競争性確保に関する緊急実態調査」について，同年 1 1 月 3 0 日に結果報告が公表されたことを踏まえ，事務局から概要説明を実施 緊急実態調査の結果，一般的に市販されていないような特殊な物品，いわゆる「汎用性のない物品」に係る契約について，性能仕様が適切に決定されなかったため，一のメーカーの複数の代理店等のみが応札し，実質的な競争性が確保されていないおそれがあること等が報告されており，同結

	果を踏まえ、「各府省におかれる契約監視の第三者機関においても、一のメーカーの複数の代理店等のみが応札している契約については実質的な競争性が確保されているかとの観点から重点監視対象とするなど、本調査結果をその監視活動に活用されることを期待するものである。」とされていることから、今後、いわゆる「汎用性のない物品」の調達事案について、矯正官署契約監視会議においても、重点監視対象契約としてフォローし、審議していくこととされた。 ＜次回の会議開催＞ 平成２２年１０月に第８回監視会議を実施予定。 審議対象契約については、平成２２年４月から同年７月までに矯正官署が締結した契約とする。
--	--

【別紙】

質問・意見等	回答等
1 「不動産登記等業務委託契約」 (一般競争入札) 契約金額 1, 4 5 9, 5 0 0 円 支出負担行為担当官 加古川学園長 (質問) 1 者応札となっている本契約では、契約の相手方が社団法人の土地家屋調査士協会となっているが、協会に属している者でないと受注できないようになっていないか。 (意見) 従前の経緯もあり、地域によっては開かれた形になっていないこともあると思われるが、個々の業者や土地家屋調査士が本公告を知らないという可能性もあるので、公告期間を長くするなどしたほうが良い。	(回答) 本契約は土地家屋調査士の資格を有していることが条件であり、従前は各県に一つしか受注できるところがなかったが、現在、市場は自由化されており、協会以外の者や個人でも受注可能である。 本件入札においては、入札説明書を手交した相手方は2 者であったが、うち1 者が辞退したものである。 (回答) 法務省ホームページ、市役所等に公告を掲示するなどしているところであるが、今後、一層競争性を確保できるよう努めたい。
2 「ベトナム語翻訳業務一式」 (一般競争入札) 契約金額 8 9 7, 7 5 0 円 支出負担行為担当官 神戸刑務所長 (意見) 同種の案件と比較することで審議を深めたい。本件は、次の案件と同種の翻訳業務という案件であるため、合わせて審議する。	
3 「ペルシャ語翻訳業務一式」 (一般競争入札) 契約金額 6 9 9, 5 6 2 円 支出負担行為担当官 神戸刑務所長	

(質問) ベトナム語、ペルシャ語とも、同じ2者が入札に参加しているが、ペルシャ語のほうは1者が辞退しているのはなぜか。 (質問) 本件については、どちらも落札率が50パーセント程度と低いので、サービスの質が気になるところである。 単価が高いということは、それだけしっかりと業務を行っているということもできる。 翻訳業務は、サービスの質が受取り側で確認できないという問題がある。 納品検査はどうしているのか。 (意見) 翻訳業務は、サービス、品質の検証が受取り側でできないことが問題である。 「安かろう、悪かろう。」では意味がなく、一般競争契約になじまないのではないか。 品質の検証をどうすれば良いのかが課題だと思う。 (意見) 本契約の仕様書等には、翻訳業務のレベルが記載されていない。 通訳業務でも個人的力量に差があり、人が変わると質がばらつくため、例えば、英語であれば英検1級やTOEICの点数等、能力試験の結果を条件とするなどしてはどうか。	(回答) 業者自らが、単価が高く落札の可能性が低いことを理由に辞退したと聞いている。 (回答) 検査職員が検査を行っているが、実際、適正に翻訳されているか否かの内容まで検査を行うことは難しい面がある。 (回答) 今回、業務の対象となった受刑者の生活要領のようなものであれば内容も平易であり、それを読んだ受刑者の行動を見れば、内容がどのくらい伝わっているか、ある程度確認できると考えている。 現在のところ、苦情等の報告はなく、品質面ではクリアできているのではないかと考えている。 (回答) 法務本省においては、事業者内部のチェック体制を確認する、参加事業者から一部分を翻訳したものを提出させ、事業者間でのチェックを行う、監修者を明記して責任の所在を明らかにするなどしている。 今後、仕様の中に、質を確保するための内容を盛り込んでいくよう検討していきたい。
4「長野刑務所電力需給契約」 (一般競争入札) 契約金額 22,431,318円 支出負担行為担当官 長野刑務所長 (質問) 電力需給契約は、まだまだ1者応札が多い	(回答) 1者応札を何とか解消し、競争性を確保し

が、本件については、地方都市の小規模施設でありながら、複数業者が応札した理由は何か。

(質問)

今後はこれが全国的になっていくのか。

5 「白灯油購入契約」 (一般競争入札)

契約金額 6, 3 7 4, 0 2 5 円

支出負担行為担当官 宮城刑務所長

(意見)

共同購入・一括契約の案件として、その内容や効果等を考え、次の案件と合わせて審議を行うこととする。

6 「A重油購入契約」 (一般競争入札)

契約金額 6, 2 3 2, 8 0 0 円

支出負担行為担当官 宮城刑務所長

(質問)

仙台市の近隣地域に所在する施設において共同購入を行っている案件であるが、A重油購入契約について、宮城刑務所を対象外として単独で調達を行うこととした理由はなにか。

(意見)

白灯油は、予定価格算出のため、いろいろと検討がなされた上、算出されており、その結果、100パーセントの落札率となっている。

ただ、2者が同額で入札したのは出来すぎのような気もする。

ようと、入札公告前から、インターネットにより入札参加可能な業者を調査し、見積依頼を行ったこと等により、複数の応札者が確保された。

(回答)

全ては難しいが、良い例ではあるので、他施設に対して今後指導していきたい。

(回答)

宮城刑務所については、他施設と比較して給油量の差が大きいこと、納品方法が異なること等の理由から、同じ単価では、コストが見合わないとのことで、供給元の業者が撤退の意思を示したため、やむを得ず、宮城刑務所を単独で、他の施設は共同購入を継続している。

(回答)

燃料費は価格の変動が激しく、市場の動向を完全に把握することは難しく、予定価格の算定は非常に困難であるが、市場価格調査を綿密に行った結果、このようになったものである。

また、本契約の約1か月前に単価見直しを実施しており、期間的に短いことから、そのときの単価と変動がなかったことが、結果的に100パーセントの落札率につながったも

(意見) 難しいところがあることは理解できる。 共同購入については、これまでも本会議で「積極的に取り組まれない。」旨意見していたものであり、徐々に結果も出ており、良い取組であるので、今後も努力されたい。 7「構内多機能無線システム一式整備契約」 (一般競争入札) 契約金額 7, 1 0 8, 5 0 0 円 支出負担行為担当官 笠松刑務所長 (意見) 本案件は、同種の契約案件があるなかで、他施設と比較して、落札率が低くなっているが、導入された機器等の質や、使用状況が気になるところである。 (質問) 笠松刑務所は、女子受刑者を収容しているということだが、男子の施設と比べて、警備上の違い、システムの違いはあるのか。 (質問) 前回、このシステムを納入した業者はどこか。 (質問) 落札率が低めであることについて、何か事情を聞いているか。 8「複写機交換契約」 (一般競争入札) 契約金額 1 0 円 支出負担行為担当官 府中刑務所長	のと考える。 (回答) 端末機器はもちろん、電波状況も特に支障等はないと聞いている。 (回答) 特に警備上の相違はない。 (回答) 今回のシステムとは仕様が全く違うが、納入した業者は同じとなっている。 (回答) 他施設の予定価格における機器の単価や、仕様の内容を比較しても、大きな違いは見受けられず、業者の努力によるものと思われる。
---	---

(意見) 本件は、次の案件と同種の複写機購入契約であるが、契約形態が異なることから、比較検討のため、合わせて審議する。 9「複写機一式購入契約」(一般競争入札) 契約金額 37,574,214円 支出負担行為担当官 東京拘置所長 (質問) 府中刑務所の案件について、落札した業者は新規参入か。 (質問) 新規参入で1円入札というものなどは以前にもあったが、新規参入ではないのに10円で入札してくるというのは、何か事情があるのか。 (意見) 府中刑務所の案件は、その後の保守契約も含め、トータルコストを検討したが、現時点において国損は生じていないとも思われるが、今後、同種の契約とならないよう、一層適正な契約に努めていただきたい。 10「醸造用原材料の供給契約」(随意契約) 契約金額 4,315,626円 支出負担行為担当官 市原刑務所長 (質問) 醸造用の大豆を扱っている業者は、複数者あると思われるが、刑務所で使用する原材料等については、今回のように、限られた業者のみからしか買えないような特殊なものが多いのか。	(回答) 以前も参入している業者である。 (回答) 今回の入札において、10円という価格を提示した業者に対し事情を聞いたところ、関連会社からの販売補助があり、同業者には影響はないことから、10円で入札したとのことであった。 (回答) 他には把握していない。 本件大豆については、全国の刑務所で使用するしょう油の原材料であり、施設の設備事情や、受刑者の動作時限が限られていることから、蒸煮という工程が不要なものを使用する必要があり、そういった原材料を扱っているのは1者しかなく、その業者の特許製品
--	--

(質問) 今回の例を見ると、今後もずっと続いていくということか。	ということである。 (回答) 同所のしょう油の生産作業については、平成２３年で終了予定であり、また、終了までの使用量も確保しているとのことであり、今回限りとなる。
--	--